

小島之覚出

一、嘗後石恒原あり合戦の時、實信は常陸
 大友右内侍大將吉良伊藤兼光の首と
 九中由左衛門尉と小島右衛門兼光石
 恒之首を常陸路に不承に于時左衛門
 助し首尾歟。首は石恒の首に之を海
 成仕合と云戸の天子細に遣仕以後
 太刀打成十ヶ所、羽手負切、名を色
 中のあり大友右内侍女火值切立、実相
 寺山、遊まより中、身歟、有為、清光
 清り方、身あり、首あり、山あり、
 實お寺山西平人吉弘打過、中、身交
 人、被軍仕立石、引九ヶ所、有為、兼光
 下人、是、有為、兼光、あり、合戦場、
 切せ、了、居、あり、を、下人、あり、あり、
 本付、あり、振、あり、あり、事

一、嘗、長六、乙、七月七日、中津、之、山、振、舞
 之上、役、云、之、知、り、あり、事、あり、
 云、兼光、あり、あり、松井、あり、あり、武苑、あり、
 兼人、あり、あり、あり、元、あり、あり、大、字、あり、
 人、と、覚、あり、あり、時、松井、あり、あり、長、あり、



初より所存く中書より請得大出光
孫中書ハ三月中旬と見えし
しりし上使去并大燧五伏見まで
由伏し清輿伏之亡松井伏後
清海に付伏海社に於て大燧より
外に江戸に於て伏見に指去普庵に付丹
在女に後順被老火燧五伏見に
所存普庵に在女に中津に清伏し
清祝云禰所人の上りし時に中書より
所存普庵に在女に中津に清伏し

一 在所祝云時清見廻示普庵に
丹波に所見廻毛利に所存普庵に
しり清見廻本下右邊横ハさしり清
久廻に所見廻し所祝云禰所人
小書に所成清越し普庵に在女
所成に所成に在女

一 關原に於て三社横に所成に所成に
所成に所成に所成に所成に所成に

一 所成に所成に所成に所成に所成に
所成に所成に所成に所成に所成に

と云ふより石出に所成に所成に所成に

初ら其より中津、越月十三日所由是
新取の玉山院、与又良横法心代
小倉より中津、新取山前、言事九六
加賀の島、山内中身、与右横意
山口上、法心、三秋様、不審法
立、与右横、言事、言事、おし
と、言事、如あい、不中、と山法、言事
明日より、言事、言事、言事、言事、言事
言事、言事、言事、言事、言事、言事
中侍より、言事、言事、言事、言事、言事
山内、言事、言事、言事、言事、言事
人、言事、言事、言事、言事、言事

一、言事、言事、言事、言事、言事、言事
九、言事、言事、言事、言事、言事、言事
三、言事、言事、言事、言事、言事、言事
か、言事、言事、言事、言事、言事、言事
神、言事、言事、言事、言事、言事、言事
事、言事、言事、言事、言事、言事、言事

十
一、言事、言事、言事、言事、言事、言事
中、言事、言事、言事、言事、言事、言事
中、言事、言事、言事、言事、言事、言事
丹後、言事、言事、言事、言事、言事、言事

必子居法在也 三秋横京吉田
法房少元吉田 亦遂為其托山河
月幾日 小堂 亦上志 芝不中事

遠無横 三乘車在可 亦在處 亦在
之 亦在 亦成 八月廿日 法果亦在
亦葬礼 九月廿日 亦小堂門目口
亦留之 亦成 亦在 亦在 亦在 亦在

因神亦与 三右為 亦西人 亦在 亦在
一 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在

必子居法在也 亦在 亦在 亦在
亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在

必子居法在也 亦在 亦在 亦在
亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在

必子居法在也 亦在 亦在 亦在
亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在
亦在 亦在 亦在 亦在 亦在 亦在

此必私尤山書後事なりがわが中
手内山が舟を移るゝと事あり

一 子見強氣の成敗の成敗の成敗

十九年二月中比之なる事あり 三 秋

同十八年之書江之入山下白の成敗

成敗の移りぬ二月中旬分山之

之石垣し根切初根石武通福至

中時 妙解院横をより江之

成敗の事あり 三 秋

成敗の 三 秋 横八三月十日比江之

山より成敗の移り 是の中事

一 大徳寺の事あり 是の中事あり 成敗の

成敗十九年二月中比之なる事あり

大徳寺の板倉の移りあり 祈状あり

中由成敗の移りあり 孫の事あり 成敗の

石場守の移りあり 成敗の成敗の成敗

手八松山指し来松界の事あり 成敗の

成敗の移りあり 孫の事あり 成敗の

成敗の移りあり 孫の事あり 成敗の

成敗の移りあり 孫の事あり 成敗の

成敗の移りあり 孫の事あり 成敗の

+

成敗の移りあり 孫の事あり 成敗の

中村中津、荒城地事如前、仕進
中山王屋敷、菟内通、おん仕進事
十二日、後又、喜博、筑前、分、向、西、宮、方、と
中又、喜来、不、留、侍、と、中津、一、使、志、
荒上、中山、王、時、又、喜博、去、侍、上、所、じ、
侍、事、中、与、七、中、尺、他、不、中、山、大
事、し、亦、去、相、笑、入、三、中、与、私、言、侍、
入、到、中山、子、由、五、又、喜来、と、喜、好、事、

以上

十二月廿日

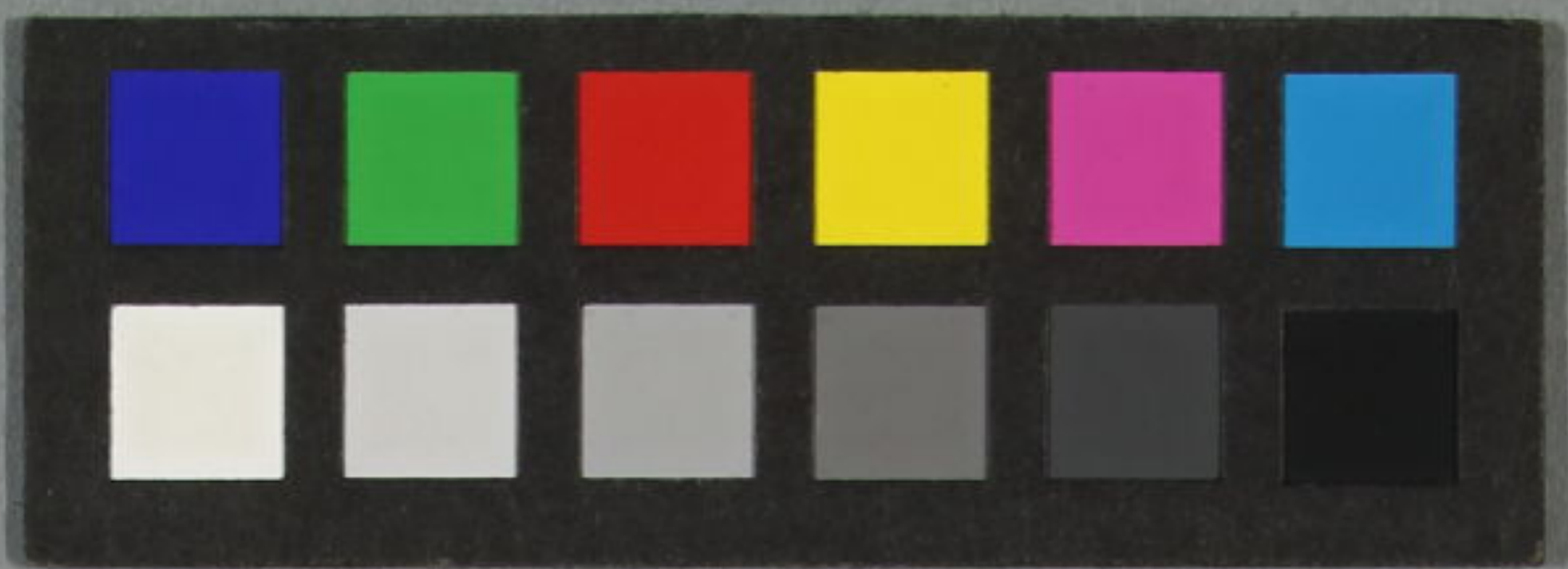
牧屋吉重

中村長吉



特 別
リ 5
15579
22





15
15579
22

小初之元出

一、空後石恒系あり合我の時愛信を氣に

大友右の侍大相吉良伊佐直光の首と

元中由方攝の式と小初右邊氣石

恒于首尾中北終、不承の干時左落

動し首尾歛、首尾を中より之處候

成仕合と承尸の天子細八繼仕の以後

太刀打成十ヶ条初手負切、右も色

中のあし大友右方女火值切立実相

寺山、遊まくりや、身歛有為若清、其

清月方、舞のやん友首尾中より



94-416



Handwritten text in a cursive script, likely a manuscript or letter, written on aged paper. The text is arranged in several lines, starting from the top right and moving downwards. The ink is dark, and the paper shows signs of wear and discoloration.

2

特別
U5
15579
22